【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第６区分
【発行日】平成24年11月1日(2012.11.1)

【公表番号】特表2009-534265(P2009-534265A)
【公表日】平成21年9月24日(2009.9.24)
【年通号数】公開・登録公報2009-038
【出願番号】特願2009-506938(P2009-506938)
【国際特許分類】
Ｂ６５Ｂ　61/26　(2006.01)
Ｂ６５Ｄ　51/24　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ６５Ｂ　61/26
Ｂ６５Ｄ　51/24　Ｄ

【誤訳訂正書】
【提出日】平成24年9月11日(2012.9.11)
【誤訳訂正１】
【訂正対象書類名】特許請求の範囲
【訂正対象項目名】請求項１９
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【請求項１９】
それぞれの印刷（ＶＡ）用のプリントマスクが、印刷すべき面の全体的な図、テキスト及び／又は絵の形を含んでいることを特徴とする請求項１～１８のいずれか１つに記載の方法。
【誤訳訂正２】
【訂正対象書類名】特許請求の範囲
【訂正対象項目名】請求項２０
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【請求項２０】
それぞれの印刷（ＶＡ）用のプリントマスクが、印刷すべき面の図、テキスト及び／又は絵の一部を含んでいることを特徴とする請求項１～１９のいずれか１つに記載の方法。
【誤訳訂正３】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】０００４
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【０００４】
これを達成するため、瓶にラベリングするためのラベリング機では、既に、直立した瓶を、ラベルを貼付する前に、垂直な瓶軸を中心として回転させることによって、瓶がラベリングユニットに達した時に、瓶の蓋上の印刷がそれぞれ所定の向きを備え、これにより、ラベリング後、瓶の蓋上の印刷と、ラベリングによって構成される意匠が、所望の統一された向きを備えるように、位置調整することが提案されている。
【誤訳訂正４】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】０００９
【訂正方法】変更
【訂正の内容】

【０００９】
この場合、プリントユニットは、プリントユニットが、それぞれのプリント画像を、電子制御装置もしくはプリントコントローラ（コンピュータ）による制御に依存して容器面上に位置調整をして発生させ、しかも、電子的又はデータセットからソフトウエアにより構成された、例えばプリントコントローラのメモリにファイルされたプリントマスクにより発生させるように形成されている。このプリントマスクの配設により、印刷の問題のない変更又は置換も、しかも、特に内容、図、色、絵に関して、しかしながらまた大きさ及び形に関して、可能である。従って、本発明は、必要時にそれぞれの印刷を問題なく変更及び／又は更新する可能性も、しかも、例えばそれぞれの製品及び／又はそれぞれのマークに依存して、提供する。
【誤訳訂正５】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００１３
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００１３】
図２には、瓶３として形成された容器にラベル２を貼付するためのラベリング機１が図示されており、容器の上面もしくは容器の口は、蓋４によって閉栓されている。ラベリング機は、公知のやり方で回転式の機械として形成されており、即ち、ラベリングすべき瓶３が、搬送機５を介して、特に入口スターを備える容器入口６に供給され、この容器入口から、それぞれ連続して、矢印Ａの方向に垂直な機械軸を中心として回転駆動されるロータ７の周囲に設けられた容器サポートに達する。回転するロータ７によって、瓶３は、少なくとも１つのラベリングユニット８を通って移動され、このラベリングユニットで、糊付けされたラベル２が瓶３に引き渡されるので、その際、ラベル２は、適当なやり方で、例えば図示されてない後続の加圧要素及び／又はブラッシング要素によってそれぞれの瓶３に加圧もしくはブラッシングされる。このようにして例えば当業者に公知の通常のやり方でラベリングされた瓶３は、次に、回転するロータ７によって容器出口９もしくはそこにある出口スター又は搬送スター１０に達し、この出口スター又は搬送スターは、その周囲にそれぞれ１つの瓶３用の複数の収容部１０．１を備え、同様に垂直な機械軸を中心として同期して、しかしながらロータ７の逆方向に、即ち矢印Ｂの方向に駆動されている。
【誤訳訂正６】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００１４
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００１４】
それぞれ１つの収容部１０．１によって収容された瓶３は、搬送スター１０もしくはその収容部１０．１内に回転しないように保持されているので、瓶は、垂直な瓶軸ＦＡを中心として回転不能である。
【誤訳訂正７】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００１５
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００１５】
このようにして収容部１０．１内に配設された瓶３は、搬送スター１０によって、１つ又は複数の光電センサ１１を通って移動され、この光電センサは、センサ又は画像検知及び画像処理システム１２の一部であり、このセンサ又は画像検知及び画像処理システムによって、瓶３に貼付されたラベル２及び／又はラベルの特徴的な領域又は意匠目印２．１が検出され、センサ１１によって供給された信号と画像検知システム１２のメモリ１３内

にファイルされたデータを比較することにより、収容部１０．１内に回転不能に収容された各瓶３のラベルのそれぞれ偶然の向きが算定される。それぞれのラベル２の向きに相当するこの情報は、プリントコントローラ１４（例えばコンピュータ）に転送され、このプリントコントローラが、次に、蓋４の上面４．１に印刷を発生させるためのプリントユニット１５を制御する。この印刷は、図２では、一般的に文字ＶＡ（蓋印刷）で示されており、任意の形で、例えば図及び／又は色を用いて形成することができる。但し、この場合、印刷ＶＡが、それぞれのラベル２に対して、例えばこのラベル２の特徴的な領域２．１に対して、所定の位置調整を備えるように、画像処理システムの情報による制御がされつつ、印刷が、収容部１０．１内で回転不能に保持された容器３の蓋４の上面４．１に行なわれることが、重要である。この位置調整は、プリントユニット１５によって発生されたプリント画像の純粋にソフトウエアによる相応の電子的な回転又は位置調整によって行なわれる。瓶軸ＦＡを中心とする瓶３の機械的な位置調整又は回転は、必要ない。

【誤訳訂正８】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００１７
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００１７】
センサ１１は、例えば、画像信号を画像処理システム１２に供給する電子カメラであり、画像処理システムで、それぞれのカメラ画像が、実測値としてメモリ１３内にファイルされた基準値としての画像と比較され、これから、それぞれのラベル２の向きが算定される。他のシステムも考えられ、例えば、それぞれのラベル２の特徴的な領域又は要素２．１を走査する、例えば、ラベル２にとって典型的な画像エッジ又はラベル内の画像移行部のような画像要素や、ラベルに施された付加的なマーキング、例えば同時に他の目的に使用される、例えば製品を特徴付けるバーコード、製造者に関する注意事項、製造日付等のマーキングを走査する、スキャナ装置も考えられる。

【誤訳訂正９】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００２７
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００２７】
蓋４の印刷は、プリントユニット２１内で、例えば、印刷ＶＡ及び／又はそれぞれの蓋４の図及び／又は色の形態又は意匠が全体的にプリントユニット２１によって中立な蓋４上に発生されるか、プリントユニット２１によって、既に蓋４上に存在する印刷が、所望したように、例えば言葉、色及び／又は図の補足を備えるように、行なわれる。

【誤訳訂正１０】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００３５
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００３５】
本発明の範囲内には、それぞれの印刷ＶＡ用のプリントマスクが、印刷すべき面の、図、テキスト及び／又は絵の全体的な形成を含んでいる構成も考えられる。

【誤訳訂正１１】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００３６
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００３６】

同様に、本発明の範囲内には、それぞれの印刷ＶＡ用のプリントマスクが、印刷すべき面の、図、テキスト及び／又は絵の形成の一部しか含んでいない構成も考えられる。